

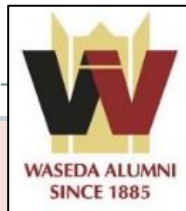
早稲田大学校友会

狭山入間稲門会 会報 第70号

事務局:狭山市稲荷山1-19-36(遠田) TEL:070-8306-5291 2023年4月発行

今号のTOPICS

- ・ 2022年度総会/懇親会のご案内
- ・ 稲門祭記念品購入のお願い
- ・ 青年部新年会を実施しました
- ・ 訃報
- ・ ウェブサイト新設について
- ・ あとがき



2022年度

総会・懇親会

昨年は総会のみで開催となりましたが、今年は懇親会も実施します！

【期日】6月3日(土) 【場所】レストラン・ニックス *Nick's*

【総会】15:40~16:30 【講演(予定)】16:45~17:15

【懇親会】17:30~19:30 (懇親会費5,000円)

※正価6,050円。1,050円は会から補助として支出します

※年会費(3,000円)も集めますので、ご持参ください。

同封ハガキの出欠欄に○をつけてご返信ください(5月20日必着)

【訃報】去る2月19日、当会の林英雄様が84歳でご逝去されました。林様におかれては、当会の役員として長年、多大な御貢献をいただきました。ここにご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。林様へいただいたメッセージをご紹介させていただきます。

●林さんは、会報を発送するといつも「届きましたメール」をくださっていたのに、ここ数回それがなかったので気になっていました。そうでしたか...一緒に遊んだ仲間がまた一人他界されて...残念です...(福山玉美)

●林様訃報の件、驚いております。いつも矍鑠としておられ、はっきりとした御意見で御指導頂いたことが強く印象に残っております。大変お世話になりました。心から御冥福をお祈り申し上げます。合掌 (片江)

●林さんには長い間、多くのイベントに参加していただき、いつも温厚な笑顔で印象的な方でした。心からご冥福をお祈りします。(木村源造)

【稲門祭記念品購入協力のお願い】

本年も稲門祭開催にあたり校友会から記念品購入依頼が参りました。同封のパンフレットの中でご購入したいものがあれば、各自でご注文願います。その際、狭山入間稲門会の実績とするため、所属稲門会の欄に狭山入間稲門会とご記入(オンライン注文の場合は備考欄に)いただくと共に、ご購入された旨を遠田までお知らせください。

また、一括注文により総会の際にお渡しすることも可能です。同封はがきの近況欄に購入希望をご記入またはメールもしくは電話で、**5月15日**までにお知らせください。

☆記念品購入売上金は母校支援に使われるという趣旨をご理解の上、ご協力くださるよう、よろしくお願いいたします。

<遠田>

TEL: 070-8306-5291

mail: hkksane@gmail.com



【公式ウェブサイトの新設しました】

かねてからの案件であった、狭山入間稲門会の公式ホームページ(ウェブサイト)を新たに開設しました。活動報告や今後の予定、会員同士の情報交換ができる掲示板など、会員皆さまで活用できる豊富なコンテンツが魅力です。これで完成ではなく、必要に応じて改良も加えていきますのでご要望等ございましたらお知らせください！

【URL】<https://sayamairuma-tomonkai.com>
会員専用ページ(5/8以降にログイン出来る予定です)
会員ID：イニシャル+生年月日
※3月11日生まれの大隈重信さんであれば「OS0311」
パスワード(共通)：1985sitwaseda
※「1985年創立の狭山入間稲門会早稲田」の意

【青年部新年会を開催しました】

年も明けたばかりの1月14日(土)、本来であれば狭山入間稲門会の新年会が開催される予定でしたが未だ新型コロナウイルスの影響が残り中止となっていました。参加予定であった青年部の有志メンバーを募って、せっかくだからと非公式新年会をささやかに実施しました。開店したばかりの「ハザマダイナー」さん(入間市豊岡)にて美味しい肉料理に舌鼓を打ちながら、青年部として会を盛り上げていこうと結束を新たにした夜でした。



公式ウェブサイトでは、この会報もそのままの形で閲覧できるようになります。

今後、郵送での会報送付が不要という方は下記QRコードよりお申し出ください。

会報送付が不要とされた方も総会開催のお知らせ(出欠ハガキ)など重要事項については今後も郵送をいたしますのでご承知おきください。



スマホ(ガラケー可)で、左のQRコードを撮影、アクセス。
Googleのアンケートフォームにつながるのお名前を入力して送信。以上です。

新しい『会報』に寄せて

新しい『会報』に会える楽しみ二つ。

一つ目、70代の私の手から離れた『会報』が、40代の平さんの手で、若く新鮮な『会報』に変身する、どんな顔をしているのでしょうか。

二つ目、“読者側”に立てる、ということ。封筒を開けると、わくわくしそうです。

平さん、会報作りご苦労さまでした。
ありがとうございました。 福山玉美

【あとがき】

今号より会報の発行を担当することとなりました平 広海(ひろみ)と申します。長年ご尽力されておりました福山玉美さんよりバトンを受け取り、大変責任重大ではありますがお役目に努めたいと思っています！
玉美さん、これまで大変お疲れ様でした。自分なりに「会員同士の想いをつなぐ」役割の会報の意義を大切にして、今後の発行をおこなっていきたいと考えております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

【自己紹介】

早実高⇒早稲田大一文英文学専修2001年卒
入間市出身・所沢市在住・妻と2人の子
狭山入間稲門会青年部部長